



Apr. 2026 Vol. 285

東京都中央区日本橋本町4-9-2 本栄ビル9階
TEL 03(5643)5321 FAX 03(3664)6470

https://www.jfa-tanzo.jp
e-mail: forging@jfa-tanzo.jp

一般社団法人日本鍛造協会
編集発行 広報委員会

第71回 理事会 議事録

開催日時	令和8年3月25日(水)	14時00分
開催場所	KKRホテル東京	
理事総数	20名	出席理事 11名

●審議事項

第1号議案 令和7年度事業報告(案)承認の件

議長の指示により、常務理事が資料に基づき、実施重点事業をはじめ協会活動、委員会活動及び会員の異動について説明した。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、全員異議なく承認した。

第2号議案 令和7年度収支予測(案)承認の件

議長の指示により、常務理事が資料に基づき、予算編成時及び決算予測案の内容の差異が大きい科目及び特筆すべき科目について内容を説明した。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、全員異議なく承認した。

第3号議案 令和8年度事業計画(案)承認の件

議長の指示により、常務理事が資料に基づき、令和8年度に遂行する事業内容をはじめ、総会及び理事会の開催予定について説明した。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、全員異議なく承認した。

第4号議案 令和8年度収支予算(案)承認の件

議長の指示により、常務理事が資料に基づき、令和7年度の決算予測及び令和8年度の事業計画案を勘案して算出した収入及び支出に関し、主な勘定科目について内訳を説明した。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、令和7年度に引き続き、当期収支差額見込みがマイナスになっているが、この先の協会運営において資金ショートなどの懸念はないのかと質問があった。

これに対して、これから先の事業展開は、他の素形材関連団体も巻き込んだ新事業事業を適宜立ち上げていく計画であり、この先も赤字ありきの予算ではない旨を説明し、理解を求めたところ全員異議なく承認した。

第5号議案 会員規定の改定(案)承認の件

議長の指示により、専務理事が、本件は幹部会からの提案事項であり、正会員各位に対し、業界の運営及び活動に広く関わっていただきたいとの意向のもと、正会員は、理事に就任できる権利を有することを、会員規定の

「会員の権利義務」の第5条2項として追加した旨を説明した。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、この改定により、理事数の増加が想定されるが、権利を行使するにあたっては、諸般の事情がない限り理事会への出席が義務であることを確認することで全員異議なく承認した。

第6号議案 定款変更(案)承認の件

議長の指示により、専務理事が資料に基づき、第5号議案が承認されたことに伴い、現行の理事定数「3名以上20名以内」から「3名以上28名以内」に変更する旨を説明した。また、役員(理事並びに監事)候補者の選出にあたっては、幹部会が候補者を選出することを明文化すべく、定款実施細則に追加する旨を説明した。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、全員異議なく承認した。

第7号議案 次期理事、監事候補者(案)承認の件

議長の指示により、専務理事が資料に基づき、次期理事、監事候補者を読み上げた。

[理事候補者] (以下敬称略、氏名50音順)

浅田 牧 翁 (重任)

岡田工業株式会社 代表取締役社長

朝日 浩 司 (重任)

株式会社ASAHI FORGE 代表取締役社長

安藤 洋 平 (重任)

株式会社アンテックス 代表取締役社長

五十嵐 宏 明 (就任)

近畿鍛工品事業協同組合 副理事長

井上 尚 路 (就任)

株式会社コタニ 代表取締役副社長

江山 創 一 (重任)

理研鍛造株式会社 代表取締役社長

太田 達 也 (就任)

株式会社イチタン 代表取締役社長

MANYO

ビレットシャー 30TON~1300TON

フォージングロール FR120~FR960

プレス 50TON~3000TON

アプセッター 200TON~2300TON



Tel 06-6458-0481

- 角田 邦夫 (重任)
 KAKUTAテックフォーミング株式会社 代表取締役社長
- 加藤 伸夫 (重任)
 新潟県鍛造工業会 会長
- 桑原 英志 (就任)
 株式会社セイトン 代表取締役社長
- 近藤 規雄 (重任)
 万能工業株式会社 代表取締役社長
- 齋木 憲久 (重任)
 株式会社明治製作所 代表取締役社長
- 鈴木 太 (重任)
 一般社団法人日本鍛造協会 常務理事
- 田中 君枝 (就任)
 全国鍛造倶楽部 会長
- 内藤 誠治 (就任)
 九州鍛造工業会
- 友岡 正明 (重任)
 株式会社メタルアート 代表取締役社長
- 南條 栄太郎 (重任)
 図南鍛工株式会社 代表取締役社長
- 林 大輔 (重任)
 株式会社ゴーシュー 代表取締役社長
- 平山 泰行 (就任)
 株式会社シンニッタン 代表取締役社長
- 松本 卓 (就任)
 東京鍛造工業協同組合 理事長
- 三須 高明 (重任)
 株式会社IJTT 宮城工場工場長兼鍛造技術部長
- 宮嶋 誠一郎 (重任)
 株式会社ミヤジマ 代表取締役会長
- 八木 議廣 (重任)
 八木工業株式会社 代表取締役社長

[監事候補者]

- 検見崎 徹 (重任)
 株式会社三井E&Sパワーシステムズ 社長補佐
- 山中 雅仁 (就任)
 株式会社ヤマナカゴーキン 代表取締役社長
- これについて議長が質問及び意見を求めたところ、全員異議なく承認した。

第8号議案 公益支出計画延長承認の件

議長の指示により、常務理事が資料に基づき、公益目的財産残額を説明し、公益目的支出計画の完了予定事業年度が令和9年3月末日について審議を願った結果、今後の公益目的支出及び収入を考慮しつつ、内閣府に相談を仰ぎながら申請手続きを進めていくことで承認された。

第9号議案 会員入会承認の件

議長の指示により、専務理事が資料に基づき、賛助会員として入会希望があった株式会社ユニバンス 生産技術部並びに株式会社Fact Base名古屋営業所について説明した。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、全員異議なく承認した。

第10号議案 素形材産業の適正取引の推進と生産性・付加価値向上に向けた自主行動計画承認の件
 議長の指示により、専務理事が資料に基づき、自主行動計画の概要について説明した。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、全員異議なく承認した。

●報告事項

1) 取引の適正化に関するアンケートの件

議長の指示により、専務理事が「自動車サプライチェーン取引適正化会議」における型取引、補給品、代金決定等に関わる課題について記述式で実施した調査の結果を配付資料に基づき説明した。

日本鍛造協会 今後の行事予定	
第72回理事会 (書面審議)	令和8年4月
第18回社員総会 at. KKRホテル東京	令和8年5月28日(水)
第73回理事会 at. KKRホテル東京	令和8年5月28日(水)
INTERMOLD/鍛造加工技術フェア at. ポートメッセなごや	令和8年5月20日(水) ~ 22日(金)
第74回理事会 at. 未定	令和8年9月
第75回理事会/表彰式 at. KKRホテル東京	令和8年11月18日(水)
令和9年賀詞交歓会 at. KKRホテル東京	令和9年1月22日(金)
第76回理事会 at. 未定	令和9年3月下旬



**INTERMOLD名古屋
 金型展名古屋
 金属プレス加工技術展名古屋**

会期：5月20日(水)～22日(金)

会場：ポートメッセなごや

特別協力 鍛造加工技術フェア

INTERMOLD名古屋/金型展名古屋/金属プレス加工技術展名古屋に、特別協力「鍛造加工技術フェア」として、下記企業が出展します。

出展企業 10社

- | | |
|---------------------|----------|
| 株式会社ASAHI FORGE | 阪村精圧株式会社 |
| 岡田工業株式会社 | 知多工業株式会社 |
| 株式会社ゴーシュー | 東福鍛工株式会社 |
| 株式会社コタニ | 東洋鍛工株式会社 |
| 株式会社丸富五十嵐製作所 | |
| KAKUTAテックフォーミング株式会社 | |



ぜひこの機会にご来場ください。

人材育成事業報告

◆令和7年度鍛造マネージャー育成塾コース

「科目13 工場経営とマーケティング」実施

去る3月12日(木)～13日(金)すみだ産業会館において、2日間実施しました。

1日目はNPOテクノサポート 渡辺講師による「業務改革の姿の描き方」をテーマに講義を実施しました。DXの本質、改革推進のための分析技法を学びました。午後はグループワークを行い因果関係分析や改善手法の演習を行いました。



2日目は引き続き演習を行ったあと、(株)ISS山崎機械 青木講師による「経営に対する考え方」について座学講義を行いました。実際に公表されている企業の財務諸表を題材とし、経営に関する基礎的な会計知識を学びました。講師の実体験を基にした臨場感のある講義に、受講生は熱心に耳を傾けていました。

その後の修了式では、修了証書授与と1年間の総括を行いました。令和7年度は16名の受講生が修了しました。



◆令和7年度鍛工品製造業実践型人材養成コース

3月5日(木)～6日(金)亀戸文化センター(東京都江東区)において、2日間実施しました。

「教科13 製図・図面の基礎知識」実施

受講生は日頃から図面に触れる機会があるものの、本講座を通じて正確かつ詳細な製図の重要性を改めて認識しました。指示内容によっては加工費用が高額になる場合があったりと、設計には多角的な視点が求められることを学びました。

また、幾何公差記号の適切な位置指定について実際に書き込む演習を行い、実務に即した理解を深めました。さらに、シャフトを受講生一人ひとりが手に取り、実物を確認しながら製図を行うことで、より実践的に学ぶ機会となりました。

特別教科「中堅中小企業だから出来る！身の丈DXと現在と未来」、「自己成長に向けて」実施

「中堅中小企業だから出来る！身の丈DXと現在と未来」では、実際に施行錯誤しながら現場のDXを進めた中小企業の事例を挙げることで、受講生の企業ではどのように実践できるかを考える機会となりました。

デジタル化というのは、大規模なものだけではなく、“ちっちゃく”スタートすることができること、まず作ってみること、試して修正することといったプロトタイプ的な考え方を学びました。

現場で実際に困っていることや不便なことを解決するためには、まず自分ごととして考え、関心を持つ人を増やし、現場みんなで考えるようになるきっかけとしてDXをうまく利用することが第一歩であることができました。

「自己成長に向けて」では、“会社から必要とされる人になる”という問いにはっとさせられながら、自己成長のためには“自分で考える”“自分からやる”ことが大切であり、目標をもち、志が生まれ、その志をどうしていくのが重要であると学びました。

また、このような講座に会社の代表として参加させてもらえることをモチベーションにし、そしてその先どうしていくのかを考えるのはやはり自分自身であるという、日々の業務に追われていると忘れてしまいがちな大切なことを思い出させてくれた講義でした。

「グループ討議」実施

受講生12名を3つのグループに分け、グループごとにテーマを決めて話し合うというグループ討議を実施しました。

討議テーマは、Aグループ『10年後、鍛造業界が成長するために』、Bグループ『10年後の鍛造業界の労働問題について』、Cグループ『人材確保について』、今後の鍛造業界のために“熱い”議論が行われ、素晴らしい発表となりました。

全10回の講義を終え、受講生の皆さんも晴れやかなお顔で修了されました。

